

《担当者名》百々 尚美

【概要】

高齢者に対するケアや支援を行っていくうえで必要となる高齢者の身体的、心理的特徴を理解し、代表的な支援法について簡単な実践もまじえて、その役割と意義について学習する科目である。

【学修目標】

老年心理学に関する基礎知識を習得し、高齢期の心身の特徴について理解する。  
老化を発達心理学的にとらえ、老化がおよぼす心身への影響について説明できる。  
老年期における知的機能、性格、適応などの心理的諸問題を系統的に説明できる。  
高齢者に対するケアや支援を行っていくうえで必要となる理論について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	老年心理学の概念	老年心理学の位置づけについて全体像をつかむ。その中で、老人観の歴史の変遷をみるとともに、自らの老いのイメージに気づく。	百々 尚美
2	老年心理学の必要	老年心理学が必要とされる背景について考える。	百々 尚美
3	老年期に起こりやすい身体疾患	老年期に起こりやすい病気にはどのようなものがあるのか、そのような病気によって心身にどのような影響が生じるのかについて理解する。	百々 尚美
4	高齢者の身体疾患の予防	老年期に起こりやすい疾患の予防について考える。特に生活習慣や人とのつながりとの関連について学習する。	百々 尚美
5	高齢者の感覚と知覚	高齢者の視覚・聴覚・味覚・嗅覚などの一般的特徴を理解することで、高齢者理解を深める。	百々 尚美
6	成熟と老化	ビデオ資料に基づき、高齢者のおかれた状況について、より具体的な理解を深める。	百々 尚美
7~9	老年期の注意	老年期の注意の特長について知る。	百々 尚美
10~12	老年期の記憶	老年期の記憶の特徴について知る。	百々 尚美
13~15	老年期の知的機能	老年期の知的機能の特徴について知る。	百々 尚美

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義終了時に課するレポートを評価する(100%)。

【教科書】

適宜プリントを配布する。

【学修の準備】

予習として参考書または前回の講義資料を熟読し、青年期以降の発達について学んでおくこと(80分)。  
復習として講義内容を見直し、関連書籍を図書館で借りて、理解を深めておくこと(80分)。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本講義は心理科学部臨床心理学科の以下のディプロマ・ポリシーに該当する。

1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。

【実務経験】

公認心理師

**【実務経験を活かした教育内容】**

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。